

2023年度(令和5年度)

# 自己点検・自己評価報告書

学校法人 水野学園  
日本さかな専門学校  
自己点検・自己評価委員会

項目 1	教育理念・目的・育成人材像等 松山学校長		
【現状】	1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	<p>教育目標は、学校生活ハンドブックに掲載し、年初のオリエンテーションで学生周知が進められている。</p> <p>3つのポリシー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アドミッション(入学者の資質)</li> <li>・カリキュラム(授業構成の指針)</li> <li>・ディプロマ(評価の観点)</li> </ul> <p>を、HPにて公表している。</p>
	2	学校の将来構想を抱いているか	<p>定期的実施される「経営会議」において、将来構想および検討が行われている。学校を通じ社会人教育の充実を図っていく必要性が話し合われている。</p>
【自己点検・課題・今後の改善方策等】	<p>&lt;自己点検&gt;  多校展開に伴い、それぞれ学校間の分野の違いが大きくなってきたため、水野学園で統一していた3つのポリシーを各校で独自に立てることを決定し準備した。現在HPに公式に掲載されている。</p> <p>&lt;課題・今後の改善方策等&gt;  1期生、2期生の学生の特性を見つつ、相対的に学生の強み弱みの検証を行い、どのように社会人教育の充実を図っていくかを計画立てる必要がある</p>		

項目 2	学校運営 松山学校長	
【現状】	3	<p>教育理念・目的等に沿った運営方針を定めているか</p> <p>学校の理念、目的、育成人材像をふまえ、「経営会議」にて運営方針を定めている。設定された運営方針は、各部署長を通じ、全教職員に周知されている。</p>
	4	<p>中長期的な事業計画を定めているか</p> <p>学校の事業計画は学校長を中心に定めている。変動する学生数、学費収入、教室使用状況、支出などを鑑み、人事計画・人件費計画は、10年後までを見据えた事業計画を定めている。</p>
	5	<p>運営組織や意思決定機能は明確化されているか、また有効に機能しているか</p> <p>理事長、学校長、各部門長による「経営会議」を定期的実施し、学園運営全般についての情報の共有ならびに意思決定を都度実施している。メールや動画配信などで運営方針の周知や情報の共有を行った。</p>
	6	<p>人事・給与に関する規定等は整備されているか</p> <p>整備されている。人事・給与に関する規定「就業規則」「給与規程」等、自由に閲覧できる環境を整えている。“採用、試用期間、休職等”については「就業規則」に記載され、“昇給、各種手当、賞与等”については「給与規程」にて明確に定め、適切に運用している。</p>
	7	<p>情報システム化等による業務効率化が図られているか</p> <p>専任の情報システム担当職員を置いている。各部署のデータを共有し、学生サービスおよび業務効率を高めるべく、システムを構築・運営している。</p>
【自己点検・課題・今後の改善方策等】	<p>&lt;自己点検&gt; 出席率、取得単位状況などが保護者も確認できる学生WEBサイトの充実に努めた。</p> <p>&lt;課題・今後の改善方策等&gt; 少子化の傾向に伴い、中長期計画や学生数確保などについて広報活動と連動した組織体制が求められる。</p>	

項目 3	教育活動 松山学校長		
【現状】	8	各コースのカリキュラムは目標が設定されているか、また体系的に編成されているか	学年ごとに教育到達レベルが設定されており、そこに到達するためのカリキュラムが体系的に編成されている。カリキュラム内容については日々活発に意見が交換されており、随時見直しを行った。各科目について「授業のねらい」「到達目標」「授業の計画展開」「評価方法」などで構成される授業シラバスを作成し、公開している。
	9	教育方法は適正か、また授業評価の実施・評価体制はあるか	全学科において「社会実感プログラム」と題し、より現代社会の変化や業界の現状に対応したカリキュラムを刷新及び導入を行った。また授業評価に関しては、学生による授業評価アンケートを9月に実施し、学生の評価を教員にフィードバックを行った。
	10	育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	外部アドバイザーとの協力により学生育成目標に向けた相談がなされている。
	11	教員組織体制が確立しているか、また教員間の連携・協力体制を構築しているか	学校長、教育局長、教育次長が教員組織を取りまとめており、組織図を共有して指揮命令系統を明確にしている。カリキュラムの交流、学校行事ごとの分科会などを通じて、教員間の連携・協力体制は整っている。
	12	成績評価や進級・卒業認定の基準は明確になっているか	学則にて明記されており、学校生活ハンドブックにて周知している。進級・卒業認定は、科目履修状況、出席率、成績を総合的に判断し、学校長以下教職員の判定会議にて認定されている。
	13	資格取得の指導体制はあるか	学生および教員自身の資格取得に際する外部との連携を行った。「小型船舶免許」の取得に向けて、学内にて講習会を実施。希望者15名の講習を行った。
【自己点検・課題・今後の改善方策等】	<p>&lt;自己点検&gt; 若い講師が多く、初年度ということもあり、軌道修正を行いながら授業を行った。進級率も94.8%と学生へはある程度の満足度を与えられたと思われる。</p> <p>&lt;課題・今後の改善方策等&gt; 2年目以降のカリキュラムの構築、授業のアセスメントを引き続き行う必要がある。</p>		

項目 4	学修成果 中村課長	
【現状】	14	就職率(卒業生就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか 開校1年目のため卒業生不在です
	15	資格取得率の向上が図られているか 「小型船舶免許」の受験結果は、1級、2級ともに合格率100%だった。
	16	在校生・卒業生の社会的な活躍及び評価を把握しているか 在校生に対しては外部の各種コンテストや発表会・展示会などに参加することを奨励し告知。 在校生の実績は「入学案内」やホームページなどで常に紹介し、在校生の学習意欲の向上や、入学検討者等への学校PRに役立っている。
【自己点検・課題・今後の改善方策等】	<自己点検> 各学習分野にて、科目ごとの特性に合わせた評価基準を設け実施した <課題・今後の改善方策等> 魚を総合的に学ぶことに対しての多角的な評価基準が必要となる。	

項目 5	学生支援 中村課長		
【現状】	17	就職・進学指導に関する体制は整備されているか	整備されている。進路専任のスタッフを配置し教員と連携している。学園の進路指導を踏襲しながら、1年次より20社の企業の方をお呼びし、仕事の内容についての講義を実施した。
	18	中途退学者が継続して学びたい場合の支援体制、または代替コースが設置されているか	途中退学者に対しての支援は特に行っていない。ただし、途中退学・除籍者であっても、再入学の資格を認めており、試験等で合格すれば、再入学を認めることにしている。
	19	学生相談に関する体制は整備されているか	整備されている。クラス担任と学務の連携による学生の就学指導は良く機能している。5月には学生全員と面談を行ったり、出席率低下の学生は毎月確認し話し合ったりと細かい学生の相談体制を構築している。
	20	学生の経済的側面に対する支援体制が整備されているか	高等教育修学支援新制度(学費無償化)、日本学生支援機構の公的奨学金、家計の急変・転科による就学年数延長者に対しての水野学園独自の授業料減免制度などを設置運用している。また、学費の分納、延納などに対しても、学費相談担当者が学生個々の状況に応じて対応している。
	21	学生の健康管理を担う組織体制が整備されているか	学校保健法に基づき、5月に学内において全学生の健康診断を実施している。診断結果が悪かった学生には、健康管理について個別に案内・指導している。また、学内においての学生の急な傷病に対しては、保健室やAED装置の設置をはじめ、救急箱や緊急搬送医院の一覧マニュアルなども完備している。
	22	保護者と適切に連携しているか	在校生、保護者が閲覧できる「在校生サイト」にて、出席率、単位取得状況、教育内容を確認できる。また、本年も水野学園全校合同で、学校ごとの授業成果を学生が発表する「プレゼンテーションズ」を開催。保護者にもオンラインで配信した。
	23	卒業生への支援体制はあるか	卒業生が出ていないため、検討を進める
【自己点検・課題・今後の改善方策等】	<p>&lt;自己点検&gt; 上記の通り、学生支援体制は概ね整備されていると評価している。</p> <p>&lt;課題・今後の改善方策等&gt; 学生の健康管理において、メンタル面の相談増に伴ない、対処に困るケースが増加傾向にあり、教職員のみでの対応に限界を感じるようになった。メンタル面のケアを実施すべく臨床心理士資格を有する先生と契約し、希望者にはオンラインでのカウンセリングを行っている。</p>		

項目 6	教育環境 松山学校長		
【現状】	24	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	施設・設備の改修／修繕／交換／導入は年度ごとに計画的に整備をしている。 教室以外の施設として、図書コーナー・自由に使える学生スペースなどの環境を整えており、年1回の学生アンケートの実施を活用し改善に努めている。学生への伝達事項は、引き続き学生アプリやGoogleClassroomを活用することで、スムーズに行えている。
	25	学外学習やインターンシップなどの教育体制を整備しているか	本年度は学外活動を多くする事が出来た。 [2023年度実績] 三浦市場見学 新江ノ島水族館バックヤード見学 三浦海岸地引網 城ヶ島クリーンアップ マグロ船見学
	26	防災に対する体制は整備されているか	学生対象／教職員対象の2種類の防災訓練を毎年実施。教職員対象の防災訓練においては、災害発生直後から宿泊するまでを想定した実践的な訓練を行っている。 防災マニュアルの作成・完備や緊急地震速報に対応したシステムの設置、5日分の非常食を完備するなど、防災体制を整えている。
【自己点検・課題・今後の改善方策等】	<p>&lt;自己点検&gt; 学外学習などに力を注いだ。学生の学外での学び体験に加え、教職員と企業間の対話を通じた繋がりが密接になった。</p> <p>&lt;課題・今後の改善方策等&gt; 自然災害が増えている中、より防災意識を教職員、学生一同もてるように強化が必要。</p>		

項目 7	学生の募集と受け入れ 平山次長		
【現状】	27	学生募集活動は、適正に行われているか	募集案内の記載内容については学生が明瞭に理解できるよう十分に配慮して作成している。募集内容は、稟議を経て理事長、学校長の決裁を受けて作成されているものであり、学内でのチェック体制は整備されている。資料請求者、入学志願者の相談内容はデータ管理され、個人情報に留意しつつ、適切な対応ができる体制が整っている。
	28	入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか	入試に関しましては全員と面接を実施、本校で学習することに対する意思の確かさ、粘り強く物事にとり組める姿勢を出願者の選考基準としている。
	29	学納金は妥当なものとなっているか	本校が提供する教育内容、施設等や他校の状況、社会全体の経済状況等を踏まえ、妥当な金額であると考えている。金額および支払時期については募集要項に明記している。
【自己点検・課題・今後の改善方策等】	<p>&lt;自己点検&gt;          実際の授業紹介などリアルな現場を見学できるようになり、2期生の募集は順調に定員確保ができた。あたためて講師、在校生、立地など学校の魅力を実感できる募集活動となりました。</p> <p>&lt;課題・今後の改善方策等&gt;          卒業生がでるまでのあと2年間、卒業後の就職実績が無いなかでの募集が重要。3年次、4年次の詳細なカリキュラム、就職情報など学務・教員と連携した募集活動が必須となります。</p>		

項目 8	財務 田中次長		
【現状】	30	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	高等教育修学支援新制度や学園独自の奨学金制度等により、入学者の確保や休退学などの離脱者を減らすことで安定的な収入を確保し、健全な財務状況を維持している。将来5年程度の見込みについて随時分析している。
	31	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	予算は、前年度末に翌年の予算案を作成し、理事長・学校長の決済を受けた上で、評議委員会・理事会の承認を受けて決定している。本部各部門の責任者は、承認・決裁を受けた予算に基づき、各部門の年度計画を定め、理事長、学校長の承認を受けて、予算を管理・執行している。
	32	財務について会計監査が適正におこなわれているか	顧問税理士の指導をうけながら適正な会計処理を行っている。 2023年度も5月に、監事2名による会計監査を行った。
	33	財務情報公開の体制整備はできているか	財務情報は学園ホームページにて公開している。 関係者より財務諸表等の閲覧請求があった場合は、閲覧規定に則った対応ができる体制を整えている。
【自己点検・課題・今後の改善方策等】	上記のとおり、適正に管理・運営されていると評価している。		



項目 9	法令等の遵守 田中次長		
【現状】	34	関係法令・設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか、また個人情報保護に関して十分な対策が練られているか	給与規程、個人情報保護規程、文書保存規程など、各規程に則り、法令順守についての総合的な管理にあたっている。前述規程等は、常時閲覧できる場所に保管し、適宜確認・利用できる環境を整えている。顧問弁護士と契約しており、随時相談可能な体制を整えている。個人情報保護に関しては、個人情報保護規程を全教職員へ説明し、この規程に則って運用している。また、マイナンバーについても、特定個人情報取扱規程を策定し、適正に運用している。
	35	自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	自己点検・自己評価委員会を設置し、問題点の改善に努めることにしている。
	36	学校関係者評価委員会を実施しその結果を公開しているか	「自己点検・自己評価報告書」を元に、学校関係者評価委員会を開催し、その結果をホームページ上で公開することになっている。
	37	教育情報の公開は適正に行われているか	前述の各報告書のほか「学校情報」を各年度ごとに更新し、ホームページ上で公開している。
【自己点検・課題・今後の改善方策等】	<p>適正に実施されていると評価してる。</p> <p>学校教育法、私立学校法、学校保健法、税法等の法令を遵守して学校運営が適正に行われている。</p> <p>自己点検・自己評価報告書、学校関係者評価委員会議事録、学校情報は、毎年ホームページにて公開することとしている。</p>		